



**茂木** ビニールハウスの中は花の匂いがこもるから、視覚障がい者の方は歩くだけで世界を感知できる。植物と対話したり、まいた種の発芽を気にしたり、今まで外に出なかった人が農業を楽しむことができる。

**山口** 福祉というと、障がい者や高齢者のためのものという限定的な捉え方をされることが多いが、市民全体に寄与するものと思ってます。

**茂木** 例えば、背の低い人が踏み台などを使い高い所のものを取るように、不便のある人がその人にあった道具を使い作業をするのと一緒に、考え方で垣根が低くなり理解し合えますよね。

**山口** 本当にそう思う。

**茂木** ユニバーサル農業は実際にはいろいろ課題はあると思いますが、多彩な農作業の種類を可能な方法で参加し、農家と障害のある方などが、お互いを理解し合って進めていくことが大切だと思いますね。

目玉おやじ。製作者は病院デイケアや福祉施設のメンバー。一度、下古山のかかしまつりに出品されたあと、化粧直しを行い、シェアスペース夜明け前のハロウィーンイベントに展示されたんだ。



**山口** 行政の中では農福連携という用語が使われることが多いです。障がい者のために仕事をつくるのではなく、個々人が力を発揮しやすい作業を農作業の中から見つけていく仕組みができれば良い。試行錯誤がいろいろあるでしょうが、農作業を依頼する側と一緒に考えていけたら良いと思う。

**茂木** そうですね。時間がかかっても良いから、楽しみながらやって農業への取組みをどんどん進めたい。

**山口** ユニバーサル農業は障がい者も含めて一緒に進めているイメージがあります。それが進むことは福祉の成長と言って良いのではないのでしょうか。



(一社)bridgeのアドバイスにより作品が商品化されたんだよ(写真左からTシャツ、手ぬぐい)。作家には福祉施設のメンバーも。



つながッテルね!  
**条例13条**

### (市民の責務) 抜粋

第13条 市民は、次に掲げる責務を有するものとする。

(2) 人権を尊重し、他の個人としての尊厳を侵さないこと。